

## 令和3年（2021）度 第1回 交野市図書館協議会 議事録

1. 日 時 令和3年7月27日（火）午後3時から4時10分

2. 場 所 交野市立青年の家2階 会議室

3. 出席者

(1) 委 員 木下会長、中嶋副会長、有山委員、今堀委員、良委員、  
神原委員、小嶺委員、島田委員、恒松委員、西岡委員、  
松井委員、山岡委員

(欠席：足立委員、栗原委員、向井委員)

(2) 事務局 北田教育長、平井館長、川村課長、福田課長代理、和田係長

(3) 傍聴者 なし

4. 次 第

(1) 開会

(2) 辞令書交付

(3) 役員改選

(4) 令和2年度事業報告について

(5) 令和3年度事業計画について

(6) 第4次交野市子ども読書活動推進計画の策定について

(7) その他

(8) 閉会

5. 概 要

(1) 開会

(2) 辞令書交付

(3) 教育長挨拶： 教育行政、図書行政に支援協力いただきお礼申し上げます。

コロナ禍と言われ、もとの生活に戻るには時間がかかると思う。本市の図書館は感染防止対策を取りながら開館している。緊急事態宣言中も制限しながらではあるが開館していた。

6月にはシステム更新を行い、HP もリニューアルして新しいサービスも加え、市民が利用しやすいようになっている。

今年は市制50周年ということだが、図書館においては、昭和48年10月の開室が始まりとなる。昭和49年には、かたの子ども文庫

連絡会が大阪府から表彰された記事が広報に載っており、令和3年4月には「子どもの読書活動優秀実践団体」として表彰された。

40数年にわたり図書館の活動があるが、最後に昭和50年2月広報に当時の教育長の言葉があったので紹介したい。「暮らしの中に病気・失業・交通事故にそれぞれ社会保障制度があるように精神や教養の社会保障として図書館が必要」と行政の取組の重要性について述べている。

今後もさらに図書館を充実していきたいと思っている。そのために委員の皆様のご協力をお願いしたい。

(教育長退席)

#### (4) 配布資料の確認

交野市立図書館条例

交野市図書館協議会委員名簿

交野市立図書館令和2年度事業報告

交野市立図書館令和3年度事業計画

第4次交野市子ども読書活動推進計画の策定について

交野市立図書館年報（令和2年度版）

#### (5) 委員出席状況報告及び役員改選

事務局： 本日の委員出席状況について報告する。

委員15名中12名の出席で、交野市立図書館条例第4条第6項により会議は成立。

次に会長、副会長の選出をしたい。

委員： 前年度と同様木下委員に会長をお願いしたい。

事務局： みなさんいかがか。

(異議なし)

会長は木下委員に。

副会長はいかがか。

委員： 前年度と同様中嶋委員をお願いしたい。

事務局： みなさんいかがか。

(異議なし)

会長は木下みゆき様、副会長は中島智子様をお願いする。一言挨拶を。

会長： コロナ禍の中、図書館閉館する中、何が求められるのか分析して、これからの図書館の役割、サービス展開につながるのではないかとポジティブに考えている。

副会長： 「子どもたちによい本を、よい読書環境を」と願い活動してきた。表彰は、図書館や学校、自治会の支援・助成はもちろん、私たちと想いを共有していただいた方や文庫の利用者の方々のおかげと感謝している。これからもよろしく願いしたい。

会長： 事業報告、事業計画の説明を。

#### (6) 令和2年度事業報告について

##### 事務局より資料に基づき説明

事務局： 主に前年度から変更したところ、新しいところについて報告する。

P1 図書館の歩み：3月から臨時休館もあったが、空気清浄機や図書除菌機の設置など感染防止対策をしながら可能な限り開館した。

P3 職員の配置：職員数に変更なし。令和元年度の非常勤・アルバイトは会計年度任用職員となっている。

P4 利用状況：臨時休館の影響もあり、貸出冊数や利用者数は減少したが、ネット予約の受付、予約本の受渡しは実施していたので予約冊数は増加。

訂正がある。表中、市民一人当たり図書購入費は191.0で、1冊当たり図書貸出コストは173.0。

P6には、利用状況の詳細。

P9 (10)統計指標の表下の※2の「平成30年度」は「令和2年度」の誤り。

P10 年間行事については、中止もあったが、時間短縮や制限を設けて実施した。見え消し線を入れているところが中止となったもの。

P13 ブックスタートの取組：個別健診となったため、ゆうゆうセンターで絵本の配布は行わずに図書館に来てもらって手渡した。今年5月からは元どおり健診時に配布。

P14 令和元年12月に開室した星田会館図書室の1周年記念イベントについて。学校等への支援について、読書の楽しさを知るきっかけづくりとして活用してもらうため、市内小中学校に読書手帳を配布。今年4月には新1年生にも配布した。

P15 ボランティア団体との連携については、地域家庭文庫やおはなしぐる〜ぶKIRARA、朗読グループあいの方々に協力いただいている。

P17 子どもの読書活動推進計画については、このあと第4次計画について説明する。

#### (7) 令和3年度事業計画について

事務局より資料に基づき説明。

事務局： 7つの項目を挙げている。

2の図書館情報ネットワークシステムの充実については、6月にシステム更新を行い、HPをリニューアルしている。

3の利用窓口の充実では、市政50周年記念事業として、10～11月頃に「郷土資料特設コーナー」を設置予定。

4の子どもの読書活動推進については、第4次交野市読書活動推進計画の策定、交野みらい小学校開校に伴う図書館整備への協力、学校巡回による団体貸出、星田会館図書室でのおはなし会の実施を予定。

5のボランティアとの協働については、引き続き連携・協働を図る。

6のまちの図書館化事業については、23か所の本の入替えや補充を行う。

7の図書館・図書室の運営については、交野市立図書館運営方針に基づき効率的な図書館運営に努める。老朽化による水漏れが発生しているため倉治図書館の外壁等改修工事を予定している。その他コロナ交付金を活用したトイレ蛇口自動水栓・センサースイッチ取付けを予定。

2のネットワークシステムの充実について、本来なら来年の報告となるが、システムの更新が6月に終わっているため、簡単に担当から説明する。

システム更新については、6月22日から30日まで臨時休館し、7月1日から稼働。

外部のデータセンターへ設置しているサーバを利用するクラウド方式を採用した。セキュリティの強化のためにLANケーブル敷設更新、ログイン認証の強化を行った。

利用者の利便性の向上や周知を図るという点では、HPのリニューアルを行った。Webアクセシビリティに配慮したHPの構築となっている。より早く必要な情報にたどりつけるよう、トップページには開館状況カレンダー、ログイン、蔵書検索機能を設定している。My本棚機能や読書マラソンなど、読書の楽しみと結びつくようになっている。

貸出券がなくてもスマートフォン等に表示させればよいという貸出券のバーコードデジタル化や返却期限のお知らせをメールで通知するというサービスも行っている。

「こどものページ」の充実を図っている。「子どもの読書に関わる大人の方へ」「学校支援」を新設した。これは子どもの読書活動推進計画に関連するもの。こどものページに関しては、ブックスタート、読書手帳のダウンロード、おすすめ本のリスト掲載をしている。

「子どもの読書に関わる大人の方へ」はボランティアグループ、地域家庭文庫の活動を周知するために作った。

その他、「交野を知る」として地域・行政資料を紹介、様式のダウンロード、リ

リンクの充実を図った。

中でも「学校支援」のページについては、調べ学習、タブレット学習への対応ができるようリンクフリーの関連サイトを掲載、教員向けに授業で役立つ著作権等関連サイトを掲載している。令和2年度の団体貸出冊数は元年度と比較すると小学校で1.15倍、中学校で2.7倍。特に調べ学習においてデジタルと紙の本の両立は不可欠なことがこの実績からもわかる。このことから今後も団体貸出でバックアップを図っていききたい。

図書館サービスの向上をめざすという点では、23万冊の蔵書を活用していただくため、データベースを正確に整えていきたい。

デジタル化の周知、操作方法の案内、館内での蔵書検索機の有効活用も図っていききたい。業務の効率化を図るためいろいろな観点から見直した。

稼働して約3週間が経過したが、利用者からさまざまな意見をいただく。不具合はその都度解消している。今後も本と人を繋げるよう、更新を重ねてボリュームのある図書館HPにしていくので、ご意見ご感想を寄せていただきたい。

会長： 令和2年度の事業報告、3年度の事業計画、図書館システム特にHPの充実についての説明があった。かなり充実しているの、すべてのページを使いこなすにはヘビーユーザーになっていただかないといけないかもしれない。学校支援のページでは調べ学習のためにコンテンツを提供しているということで、図書館がサイトから一元化されているというのもまさにGIGAスクール構想、ことばだけではなく、図書館が積極的に取り入れていることがわかった。

事業報告、事業計画、システム更新について質問・意見など、どなたからでも自由に。

子ども読書計画については後ほどということ。令和2年度報告について質問等ないか。星田会館図書室の利用は順調に伸びているということだが。

副会長： P5の主な決算額の推移のところ、消耗品費と光熱水費が増えている。雑誌の充実だと思う。市民のニーズに応えるということは大事だと思う。星田は元々居場所としてということでの雑誌なのかなど。

優れた書籍は、家電製品のように使われた時から価値が減少するというのではなく、何十年、何万人によって読まれ続け、その価値が減るものではない。そういうものを大人が伝えていかなければ消えてなくなると思う。3年で廃棄されるような雑誌に図書費を充てるのはいかがなものかと思った。9Pの基本実績の図書購入費も元年度は1,770万円だったのに、2年度は1,480万円。図書館費も元年度よりかなり削減されている。その使い方についてどうかと思う。文庫の見計らいをしても賞味期限付きみたいな本が多い。学校だから、図書館だからという本を充実させてほしい。

会長： 経費のところの説明を。

事務局： 令和元年度は星田会館図書室の開室分の上乗せがあった。減っているように見えるが通常に戻ったもの。消耗品費についても星田の開室によるもので新聞雑誌も多少増やした。星田会館図書室の電気代も支払っているのですがこういう形になっている。

会 長： 令和元年度は星田のオープンに伴ったものとなっている。

副会長： 賃金が報酬に変わったというのは？

会 長： 会計年度任用職員になったので費目が変わったということ。

委 員： 朗読グループの対面朗読について、コロナが心配で休止している方もいたが、自宅マンションの集会所でされていた方など何人か利用されていたが、数の計上をしていなかったので0回になっているのだと思う。

事務局： こちらは青年の家図書室を利用された回数ということでこうなっている。  
対面朗読を利用されている方は何人おられるか？

委 員： 2人。

会 長： では、次第6、第4次交野市子ども読書活動推進計画の策定について、事務局より説明を。

#### (8) 第4次交野市子ども読書活動推進計画について

##### 事務局より資料に基づき説明

事務局： 策定の目的、子どもたちが読書に親しむ習慣を身につけられるような環境を整備することを目的として、令和元年度に満了した第2・3次交野市子ども読書活動推進計画における成果や課題、読書を取り巻く環境の変化等を検討・検証した上で策定するもの。

根拠法令として、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条2項に市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策について計画を策定するよう努めなければならないと規定されている。

概要として、国の第四次子供の読書活動に関する基本的な計画及び大阪府の第4次子ども読書活動推進計画を参酌し、構成する。

詳細については担当から。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人を集めることがままならないなか、現状を知るにはアンケート調査が必須となってくる。

大阪府の第4次子ども読書活動推進計画を参考にアンケートを実施中。

6月には、14小中学校の図書館担当教員を対象に行った。

7月には、市内23認定こども園、幼稚園対象に実施、現在回答受付中。

8月後半には、14小中学校の小学5年生と中学2年生を対象、市内3認定こども園の保護者対象に実施予定。

その他、ブックスタート時の4か月児健診受診保護者対象として関連課と調整中。

府立交野高校の2年生にも協力依頼を予定。

事務局： スケジュールについて、本日第1回の図書館協議会、11月頃までにアンケート調査及び集計を行い、11月に素案作成、1月にパブリックコメント、2月に成案という予定で考えている。その中で、素案、成案は、協議会ではなく、策定委員会で策定したいと考えている、構成委員は皆様をお願いしたい。了承していただけるか？

会 長： 策定委員会という形をもって進めることに了承いただけるか。  
(了解)

事務局： 正式に決まれば、書面でお知らせする。コロナ禍という制約のなかでということになるので、書面でのお知らせ、あるいは会長一任ということでも承りたい。

会 長： まったく新しいものを作るのではなく、2・3次の計画に近年のいろいろな法改正があったものを含めたものになると聞いている。さまざまなアンケートを実施されている、それらを反映した計画になると。

府の計画についてはどうか。

委 員： コロナ禍やSNSの普及もある中、どのように読書推進していくかという点を問題点としている。

会 長： 学校現場はどうか？

副会長： 小中学校の現場の話を聞きたい。

委 員： ネットのたくさんの情報の中から調べるのは大変。調べ学習だけではなく、教室にも本を置いてもらい、学校の予算は限られていて多くは買えないので感謝している。本が手に取れる環境ができています。読書手帳も配布していただき活用している。

会 長： タブレットがあれば、紙の本はいらないというのではなく、ウェブで調べたことを確かな情報で確認するということができていますのをうれしく思う。中学校はどうか？

委 員： さきほど説明のあったネットワークシステムの充実についての資料はあるのか？よい取組みなので、広く市の取組みとして発信できれば素晴らしいと思う。

会 長： ぜひ市民の皆様を知っていただきたい。いろいろな機会をとらえて改定ポイントを広報していただければ。

委 員： スケジュール案について、あと2回ほどの会議ということだが、具体的にいつ頃か？

事務局： 11月頃に1回、2月にあと1回予定。

会 長： 11月に素案、2月に完成案を示していただく。

委 員： 中学校は、生徒と図書館を結びつけるのは小学校より難しいという認識をもっていましたが、学びあいサポーターに協力いただきながら、すべての教科で学校図書館を活用するという取り組みを続けて2年目になる。

GIGA スクール構想が主流となり 1 人 1 台タブレットを持っていて、調べものをするのも、図書館を利用するまでもなくタブレットで瞬時にわかるという利点はあるが、それが正しい情報かどうか生徒には判断できない。学校図書館の蔵書を活用して正確な調べ物ができる。学校にない本は、市の図書館で探していただける、生徒が本に携わる意識が強くなっていると感じている。今後も図書館が活用されるようにしたい。

会 長： SNS、タブレットだけで、情報リテラシーという力をつけないままで SNS におどらされてしまう市民にならないよう、そういう役割を果たしていただいていると思う。

委 員： HP がリニューアルされ、朗読グループあいのページもいれていただきありがとうございます。あいの HP で講座等の紹介をしているが、何か変更があった場合は倉治図書館に連絡すればよいのか。

事務局： あいさんのところにリンクをはっているので、そのページを変更されれば大丈夫だが、連絡をもらったら確認する。

委 員： 視覚障害の方は、スマホやパソコンを活用されている方が多い。その方たちにも使っていただくよう勧めたい。

会 長： Web アクセシビリティに配慮した HP で読み上げ機能もあるので、皆様からも利用を勧めていただければと思う。

委 員： 文庫活動もなかなかできずにいる。さきほどの報告の中では週 1 回となっているが月 1 回くらいである。図書館の方が開いているので、皆さんそちらへ行かれています。他市の図書館が休館するなか、制限はあっても交野の図書館は開館してありがたい。

さきほど先生のお話にもあったが、学びあいサポーターは重要だと思う。活躍されている方がいるが、会計年度というのかアルバイトのようで、不安定な立場ではやりがいがあるとはいえ、継続して進めるということが難しい。他のところでは継続して成果が出ているようなので、これは行政のほうかと思うが、学びあいサポーターの活用をこれからも計画的にしていいただければありがたい。

委 員： こども会も活動はできていない。個人的にはコロナ禍のなか、図書館が開いていてありがたい。

会 長： 第 4 次読書活動推進計画も交野らしいものになればと思う。

案件としては以上になるが、他に何か。

副会長： HP は本当にいたれりつくせり。

いつも言わせてもらっているが、学校も図書館も人、市民をつくる場所だと考えている。図書館サービスということばはあるが、提供するだけでなく個々の人々の長い人生に関わる責任がある。コロナ禍にあつてたくさんの制約を受けながらも図書館はいろいろな取り組みをされ、学校においても学びあいサポーター



の方々の尽力でそういうことができているのはありがたく思う。ただいずれも人不足だと思う。1年期限の会計年度任用職員などでは不十分だと思う。読書の喜びを分かち合える人から手渡される体験を大切にしてくれて、自分を支えてくれる一冊に出会えるお手伝いをしてくれる図書館、学校図書館であってほしい。そのためには、そこに働く人が忙しく疲弊することない労働環境、研修の機会を作っていたきたい。

会 長： 一昨年の映画「ニューヨーク公共図書館エクス・リブリス」で「図書館とは人だ」とスタッフの方が言っていた。

じっくりHPを見ていただくことを改めて案内させていただく。

以上をもって令和3年度第1回交野市図書館協議会を終了する。

(9) 館長挨拶： いろいろいただいたご意見は、今後の図書館運営に反映させていただく。

策定委員もかねていただくことを了承いただきありがたい。ワークショップ等実施しながら策定したかったが、コロナでいろいろな制限もあるなかで策定していくことになる。スケジュール的には2月成案に向けて進めていくが、コロナの第5波6波もあるかもしれない、ずれていくこともあると思う。この計画は、努力義務なので、どうしても今年度に作らなければならないということもないと考えている。焦って何も見るところがないということのないよう、パブリックコメントもしながら策定していきたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。